２０１２年度　公益社団法人　乙訓青年会議所　委員長方針

公益総務委員会　委員長　山﨑　春樹

乙訓青年会議所は、昨年度公益社団法人格を取得し、実質的初年度を迎えます。１９７９年設立時に掲げた乙訓地域の明るい豊かな社会の実現に向けての理念は、３３年目を迎えても何ら変わる事はありません。しかし名実共に公益団体となる本年度は、乙訓地域の負託と信頼に応えるべく、より公益性のある団体へと進化し､次年度以降へ伝承していく事が我々の使命であると考えます。

掲げる理念を継承し、使命を全うする為には、土台が強固なものでなければなりません。公益総務委員会の担いは、各委員会との連携を図り、情報を正確に交わし､円滑な組織運営が行えるよう､縁の下の力持ちとなる事であります。乙訓地域、乙訓青年会議所の更なる活性化の為、そして次代への伝承者となるべく活動致します。

公益社団法人として乙訓地域に開かれた事業を開催する為には、継承してきた理念に加え公益法人制度に則った公益性の真意を改めて理解し、活動に繋げる必要があります。組織運営を確立する為、事業の立案から目的、内容を明確にする手法の部分において指南役として活動致します。会議運営において厳正なる審査を行うべく、議案書フォーム内に事業内容、公益性に関する項目が細分化されたチェック機能を確立させ、より精度の高い議論が交わされる事を目指します。また､各委員会との連携を図り､立案された計画が明確になるよう、十分に議論を行い、事業が目的通り開催されるよう備えます。そして、主務官庁である京都府との連携も密に取り、乙訓青年会議所の事業計画、報告を遅滞なく行います。新たな一年のスタートに備え、ＬＯＭ運営マニュアル、電子化された会員名簿及び基本資料の作成を行い、乙訓青年会議所の管理運営に備えます。理事長より一年間の活動方針についてご講演頂き、円滑な運営を目指す為、役員の心得として各役職の責任と役割をご理解頂く事を目的とした役員セミナーに始まり、各種会議運営、事業褒賞の申請業務に努めます。そして、年度末には一年間の集大成として、理事長に各委員会活動を振り返って頂き、顕著な活動を行ったメンバーの功績を称え、次年度への架け渡しとなる１２月例会を開催致します。また、ＪＣ伝承委員会と連携し一人でも多くの仲間が出来るよう会員拡大活動に取り組み、まちづくり事業や青少年育成事業にも委員会メンバー一同率先して事業に参加致します。

私は青年会議所で多くの事を学んできました。その中で、裏方として会議運営、事業実施に携わった経験より、仲間の為に役立つ事を喜びと感じる事が出来ました。これは私にとって大きな財産であります。委員会メンバーには委員会活動を通じて、この思いを一年間共有して頂き、乙訓青年会議所の次代を担う伝承者へと大きく成長して頂きたい。その為に、私は委員長としての背中を見せ、妥協する事無く「楽志伝承」の精神のもと、組織の中枢を担う事に誇りと責任感を持って活動して参ります。